



AutoSV装置の使い方

バイパップ オートエスバイ ドリームステーション BiPAP autoSV

※本書は取扱説明書に代わるものではありません。必ず添付文書および取扱説明書をご覧ください。

1. 各部の名称

2. 加温加湿器／各部の名称

3. 加温加湿器の組み立て・使用手順

4. 機器の設置

5. 備品の取り付けと交換

6. セルラーモデムの使用手順

7. 機器と電源コード・電源アダプタの接続

8. 呼吸回路の接続

9. 呼吸回路の構成

10. 送気の開始

11. メニュー操作

12. 送気の停止

13. お手入れの方法

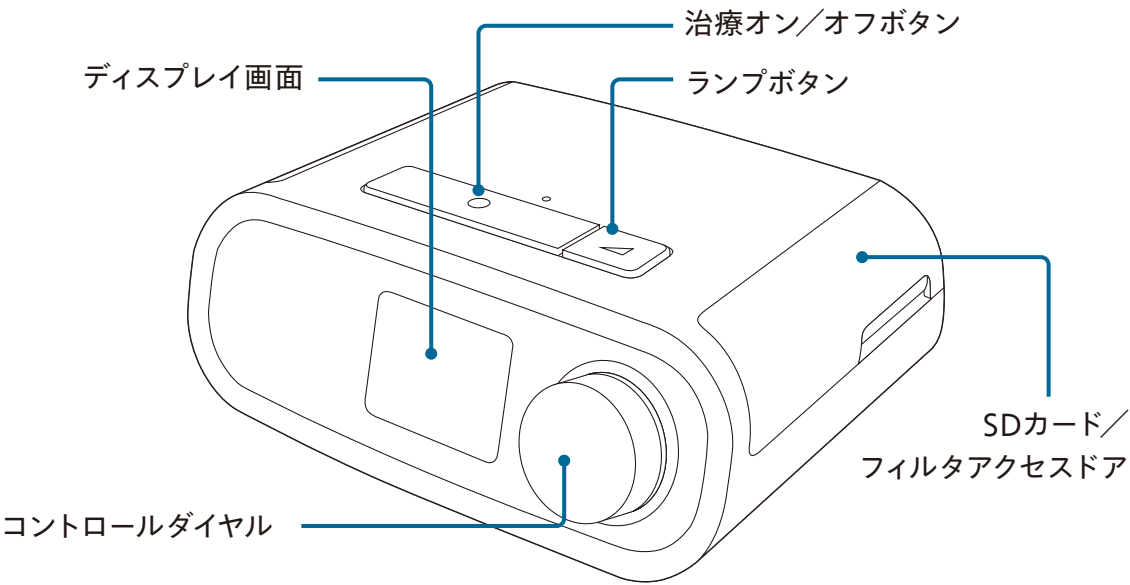
14. お手入れの手順

15. アラーム発生時の対応

16. アラームトラブルシューティング

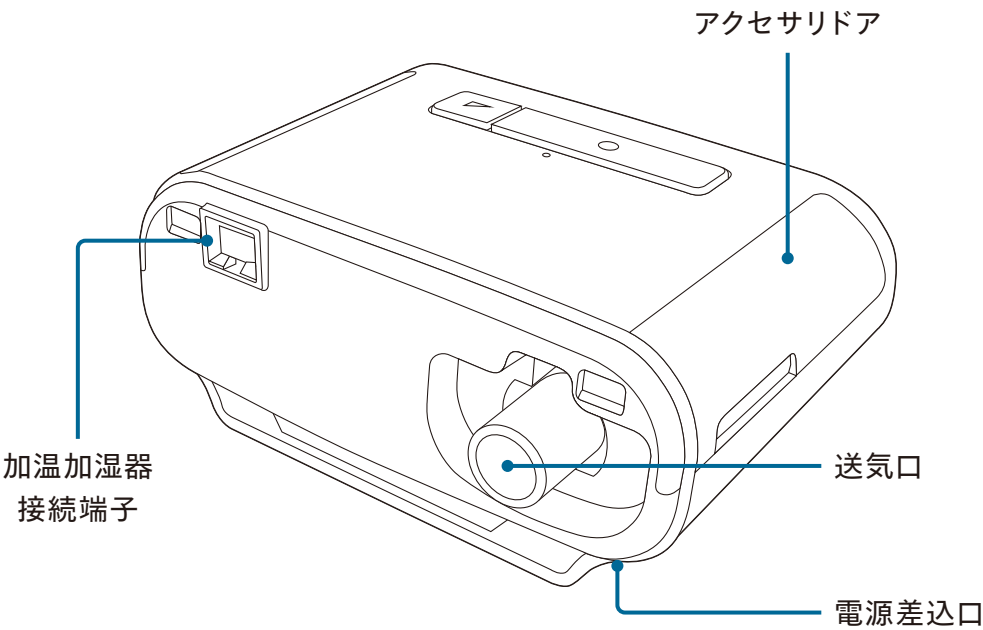
1 各部の名称

前面パネル



治療オン/オフボタン	押すと送気が始まり、もう一度押すと送気が止まります。
ランプボタン	使用中に押すと送気がランプ開始圧まで下がり、徐々に治療圧まで上昇します。
ディスプレイ画面	カラーディスプレイにメニューが表示されます。
コントロールダイヤル	ダイヤルを左右に回して選択し、ダイヤルを押して決定します。

機器背面

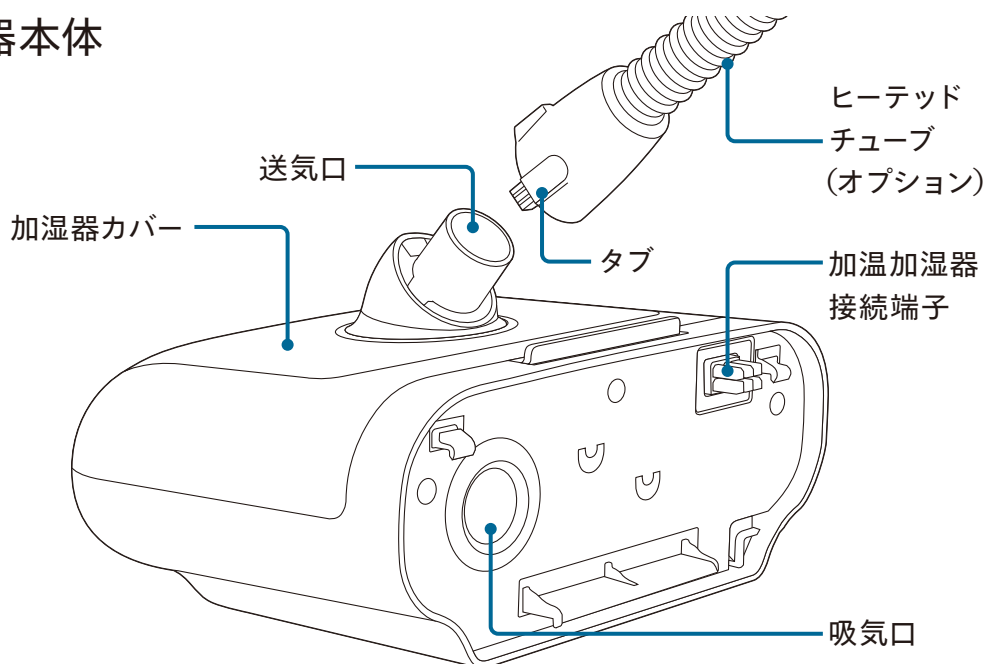


※加温加湿器をご使用の方のみ、この項目をご覧ください

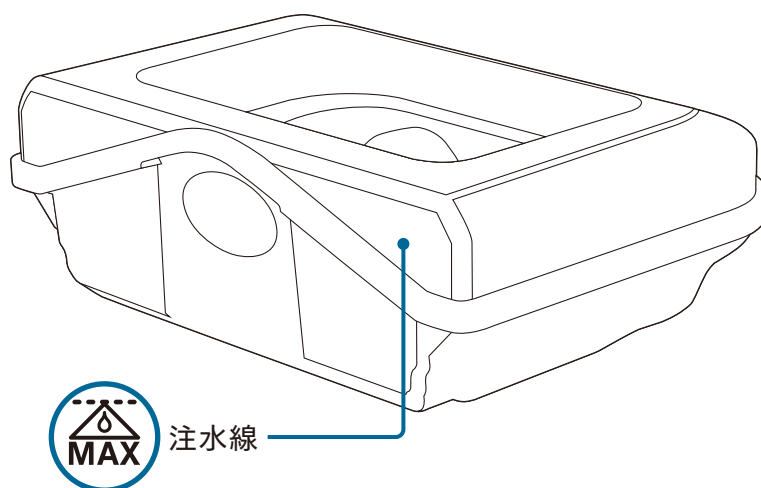
2 加温加湿器／各部の名称

※加温加湿器をご使用いただくには医師の処方が必要となります。

加湿器本体

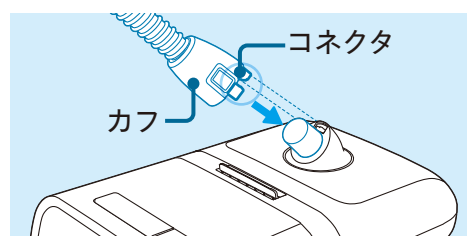


水タンク



ヒートッドチューブを取り外すには…

呼吸回路コネクタ側のタブを両サイドから押しこみ、機器の接続口よりヒートッドチューブを引き離します。

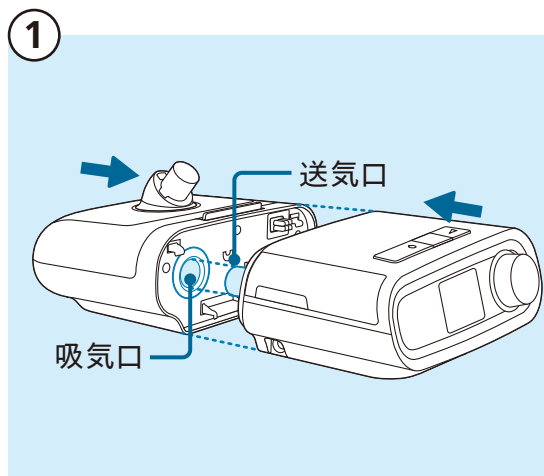


3 加温加湿器の組み立て・使用手順

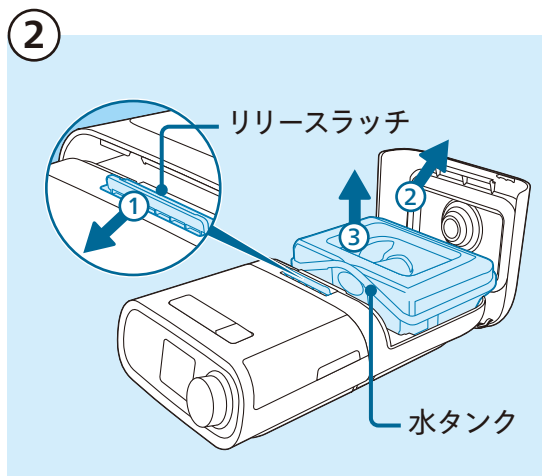
※加温加湿器をご使用いただくには医師の処方が必要となります。



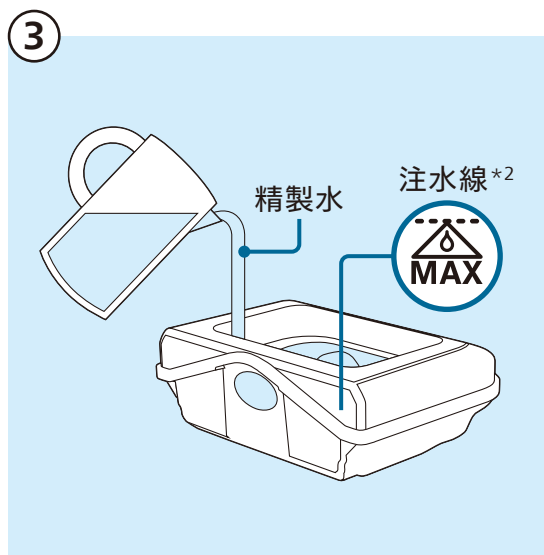
付属の取扱説明書を参照し、
付属品がすべてそろっていることを確認してください。



機器本体の送気口と加温加湿器の吸気口を重ねて並べ、カチッと音がするまで押し合わせます。

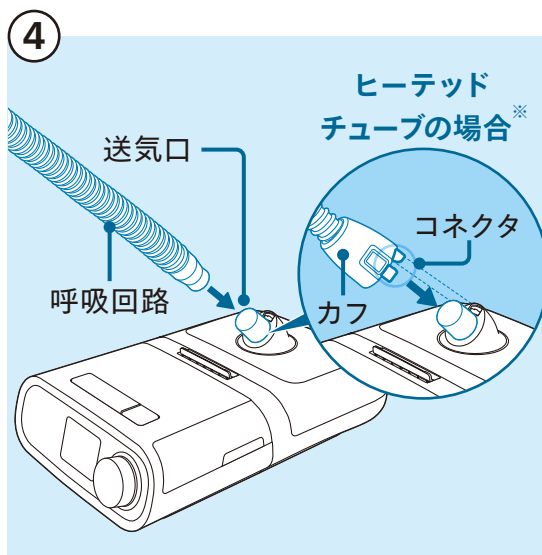


上部のリリースラッチを機器本体側に引き、加温加湿器のカバーを開いて、水タンクを取り出します。



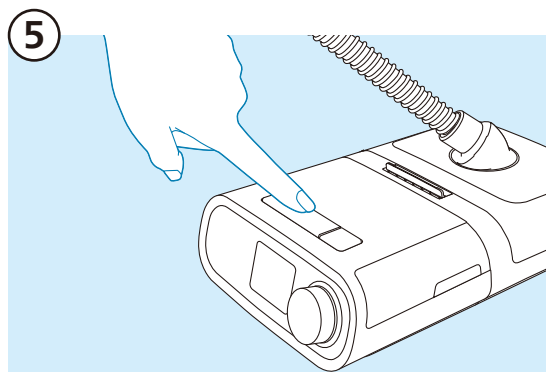
精製水（蒸留水）を注水してから加温加湿器にセットします。

*2 注水する際は、注水線のマーク  を超えないようにご注意ください。



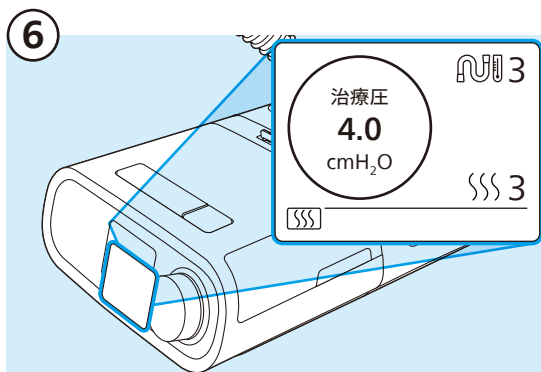
呼吸回路を加温加湿器の上部にある送気口にしっかり接続します。

※ヒートッドチューブ（オプション）を使用するときは、カフのコネクタを送気口に合わせて接続します。



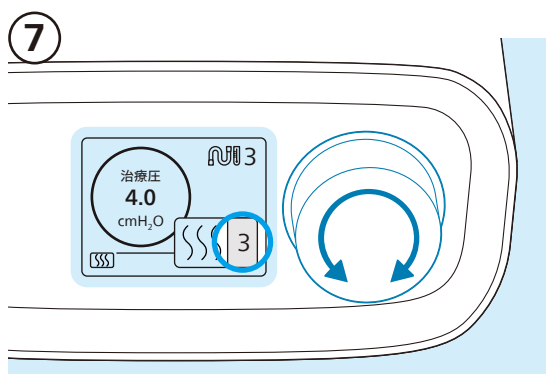
機器の送気をオンにして治療を開始します。加温加湿器は機器本体に連動して、自動で作動します。

④の項目を参照してください。



機器の送気を開始すると、ディスプレイ画面に加湿器設定アイコン(〰〰〰)が表示されます。

※ヒートドチューブを使用している場合、右上に回路温度設定(〰〰〰)も表示されます。



機器のコントロールダイヤルを回し、それぞれ医師から処方された処方値に数字をあわせます。

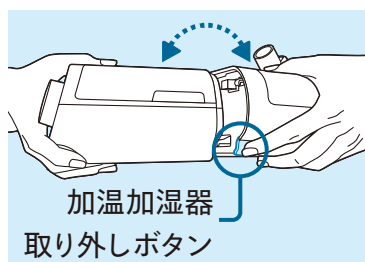
ご注意ください

- 加温加湿器の水タンクには、必ず精製水（蒸留水）を使用してください。
- 使用する前に必ず水タンクの水量を確認してください。
- 水タンクは毎日洗浄し、使用してください。

▲ 加温加湿器を本体から取り外す際は…

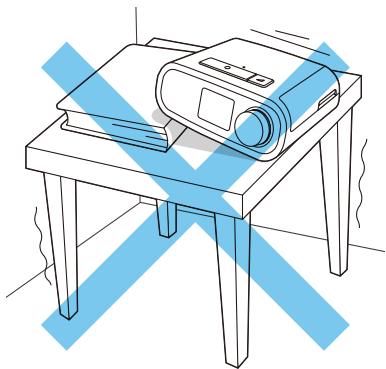
加温加湿器のヒータープレートと水を約15分間冷ましてから水タンクを取り外します。

加温加湿器の側面にある加温加湿器取り外しボタンを押しながら、機器本体と加温加湿器を引き離して取り外します。

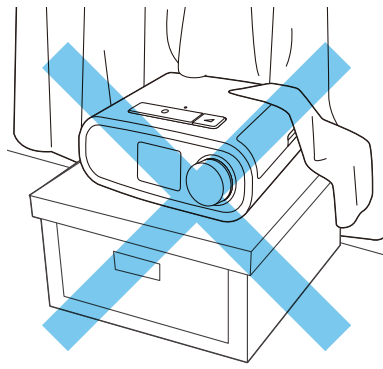


4 機器の設置

機器は、使用するときには手が届きやすく、安定した水平な場所に設置してください。冷暖房器具（送気排気口、ラジエータ、エアコンなど）から離れた場所にあることを確認してください。



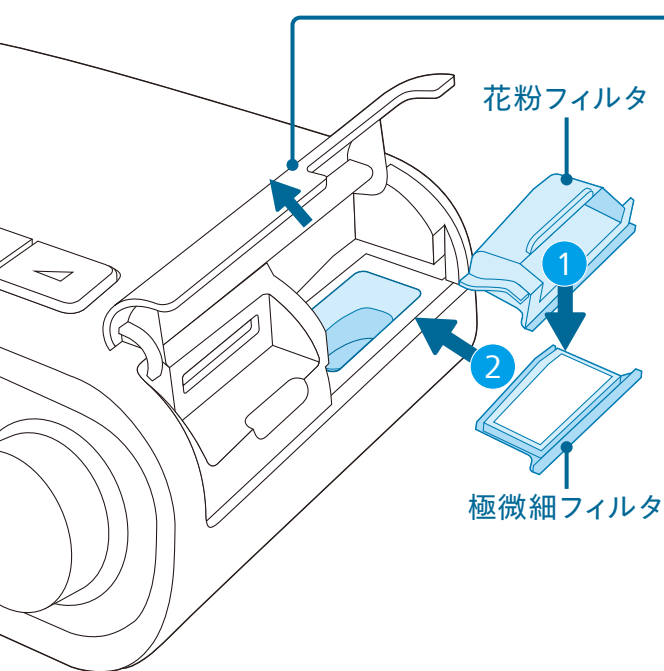
機器をしっかりとした平らな台などに置きます。



フィルタエリアがカーテン布などで塞がっていないか確認してください。

5 備品の取り付けと交換

※ご使用の際は、以下の備品がセットされていることを確認してください。



SDカード／フィルタ

アクセスドアを開きます。

交換の場合は古いフィルタを取り出します。

フィルタの取り付け

左図のように花粉フィルタを極微細フィルタの上に乗せ、一体化します。所定の位置に取り付けてフィルタアクセスドアを閉めます。

※花粉症の方には、極微細フィルタをおすすめします（オプション）。
極微細フィルタは使い捨てです。

※セルラーモデムをご使用の方のみ、この項目をご覧ください。

6 セルラーモデムの使用手順

※セルラーモデムをご使用いただくには医師の処方が必要となります。



付属の取扱説明書を参照し、
付属品がすべてそろっていることを確認してください。

⚠️ ご注意ください

セルラーモデムは携帯電話と同等の取扱注意が必要です。総務省は、ペースメーカーとの干渉の可能性を避けるため、ペースメーカーなど植え込み型医療機器の装着部位から15cm程度以上離すよう推奨しています。飛行機内で使用する場合は、モデムの設定を事前にオフにしてください。

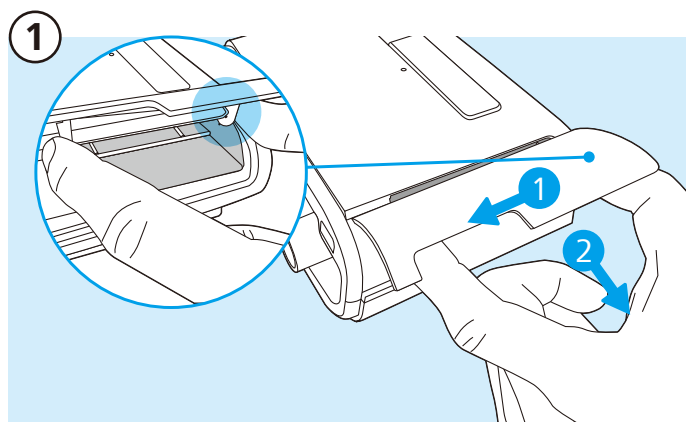
毎日ご使用後は…

- ・機器・呼吸回路・マスクなどは直射日光を避け、ホコリのかからない場所で保管してください。
- ・データ転送中と表示されている間は、SDカードを抜いたり電源を切らないでください。

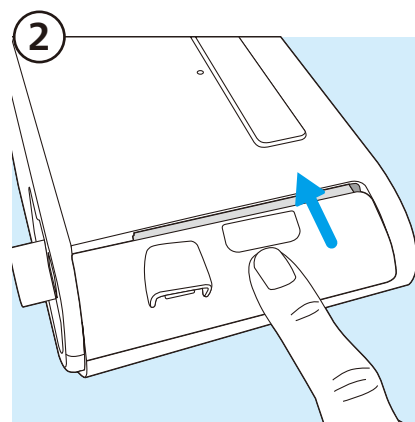
設定 方法

[ユーザー設定] メニューから [モデムオフ] を選択し、コントロールダイヤルを押します。(ただし、モデムをオフにして3日後に自動でオンに戻ります。)

モデムの取り付け

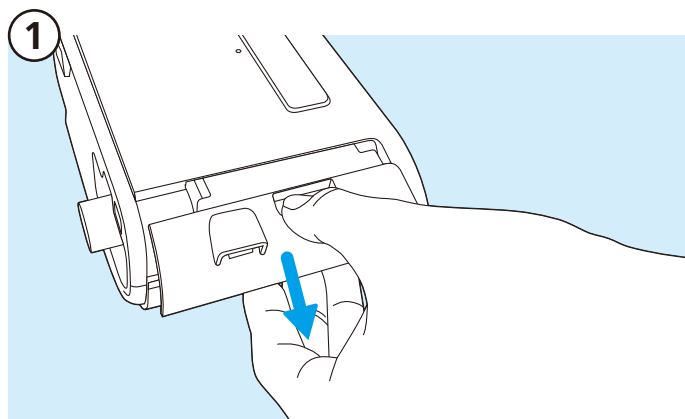


アクセサリドアの裏にある取手を①の矢印の方に押しながら②の方向に引くとアクセサリドアが外れます。

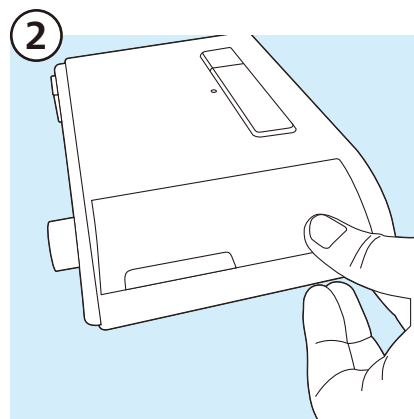


4Gモデムを差込口にあわせ「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

モデムの取り外し



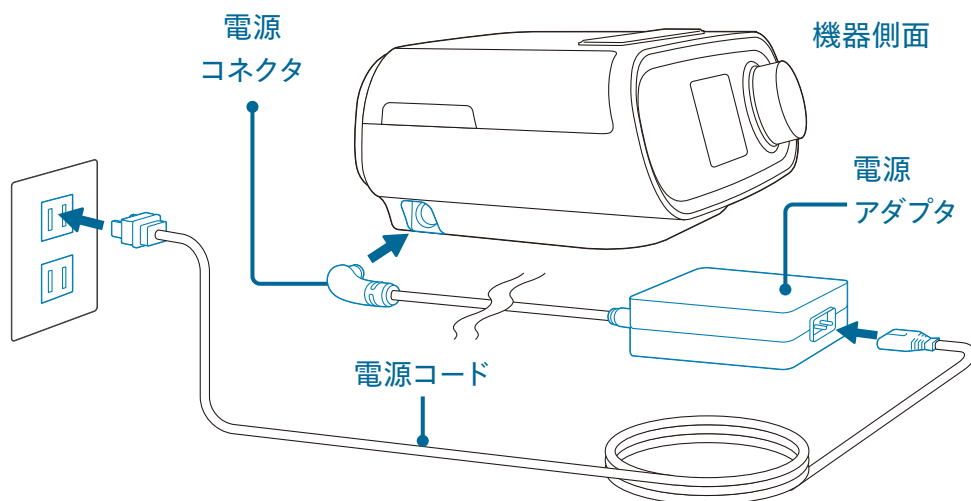
モデム外装のくぼみに指を添えて
取り外します。



長期間使用せずに保管する
際はアクセサリドアを
取り付けます。

7 機器と電源コード・電源アダプタの接続

電源アダプタのコネクタを、機器側面の電源差込口に差し込みます。
電源コードと電源アダプタを図のように接続し、
プラグをコンセントに差し込みます。

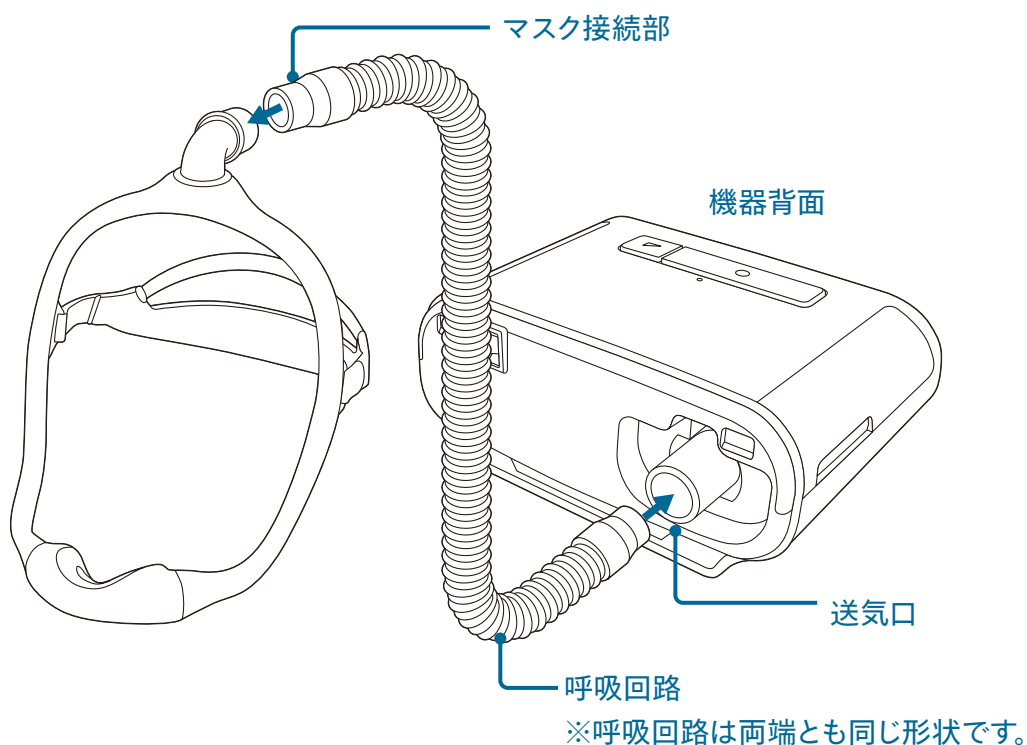


ご注意ください

電源コードおよび電源アダプタのコードは、過度の曲げや、ねじり、束ねなどによって断線し、発熱・発火におよぶ可能性があります。
ご使用前には必ず破損がないことをご確認ください。

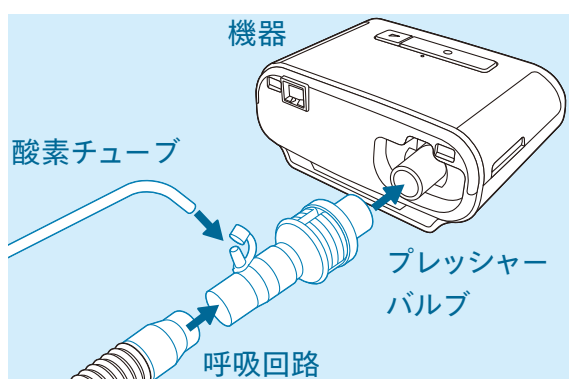
8 呼吸回路の接続

呼吸回路の一方を機器背面の送気口に接続し、
もう一方をマスクに接続します。
マスクを鼻にあててからヘッドギアで固定します。



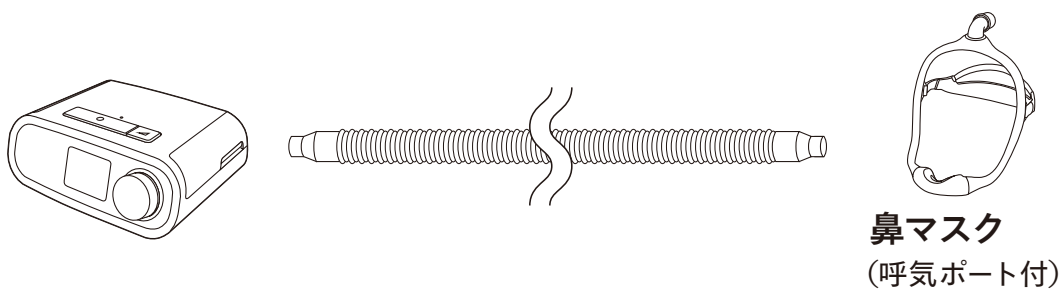
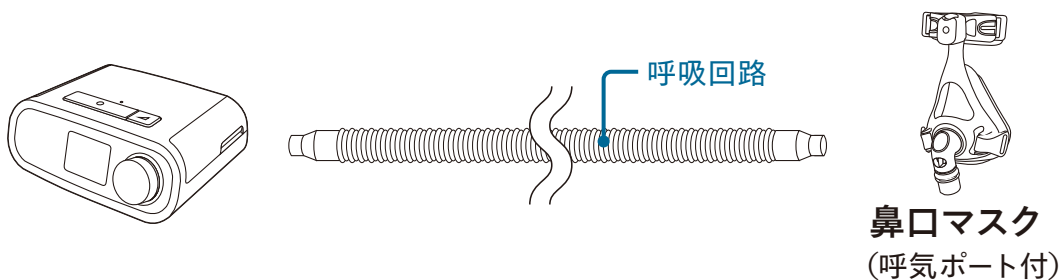
酸素供給装置（酸素濃縮装置・酸素ボンベ）を併用する場合

機器背面の送気口へ呼吸回路、
プレッシャーバルブを直列に
取り付けます。
プレッシャーバルブの接続口
に酸素チューブを接続し、酸素
供給装置のスイッチをONに
します。

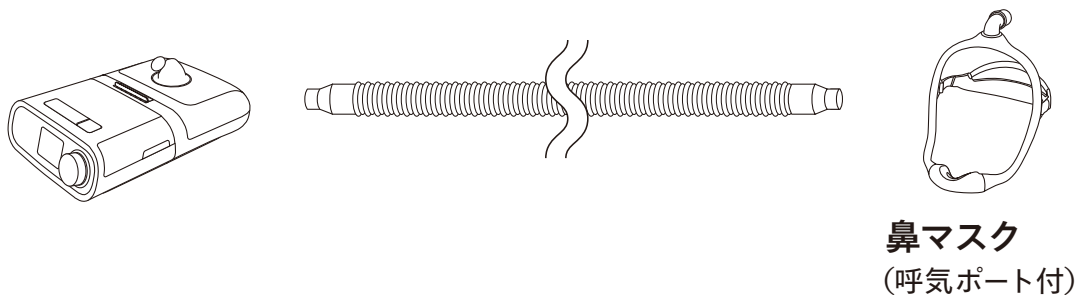
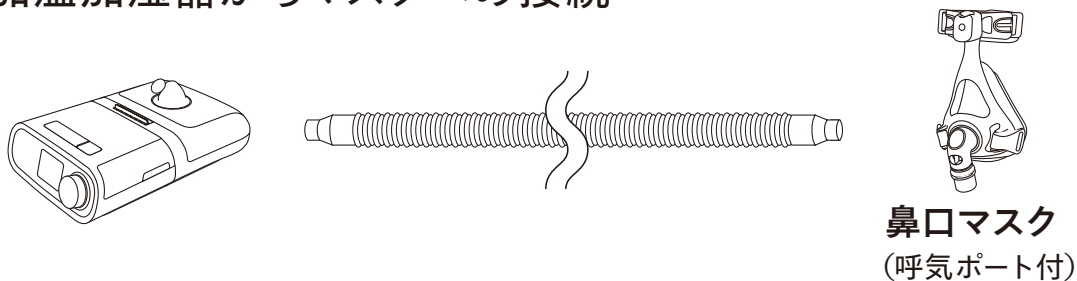


9 呼吸回路の構成

機器からマスクへの接続



加温加湿器からマスクへの接続



▲ 呼気ポートは塞がないでご使用ください。

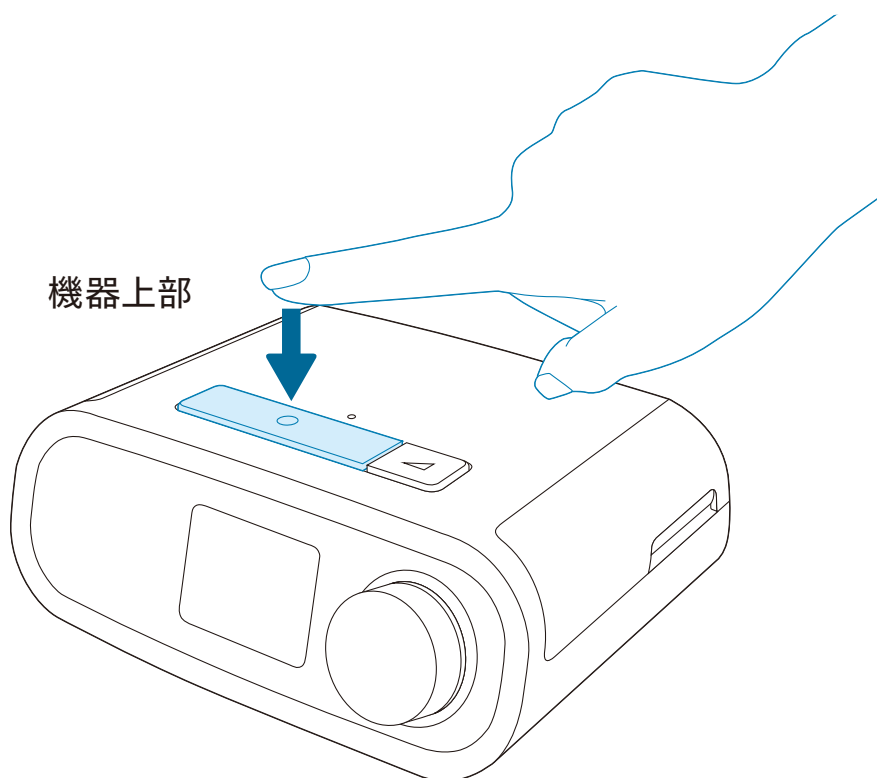
呼気ポートは、ユーザーの呼気を逃がすためにあります。



各種マスクの装着方法は、別紙
「マスクおよびCPAP付属品の使い方」を参照してください。

10 送気の開始

機器上部にある 治療オン/オフボタンを押すと送気が始まります。
空気が送られてきたら口を閉じて、鼻だけで呼吸してください。

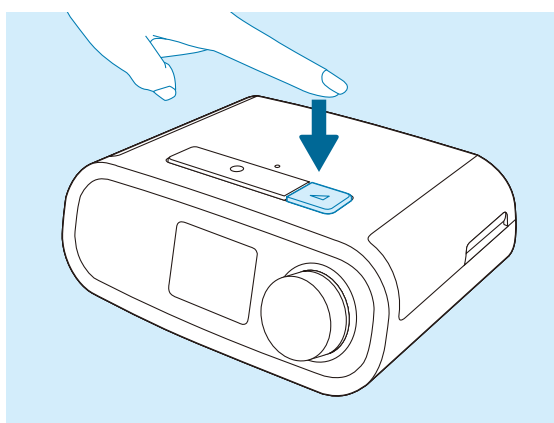


ランプボタン

使用中に息が吐きづらく感じたときに押します。

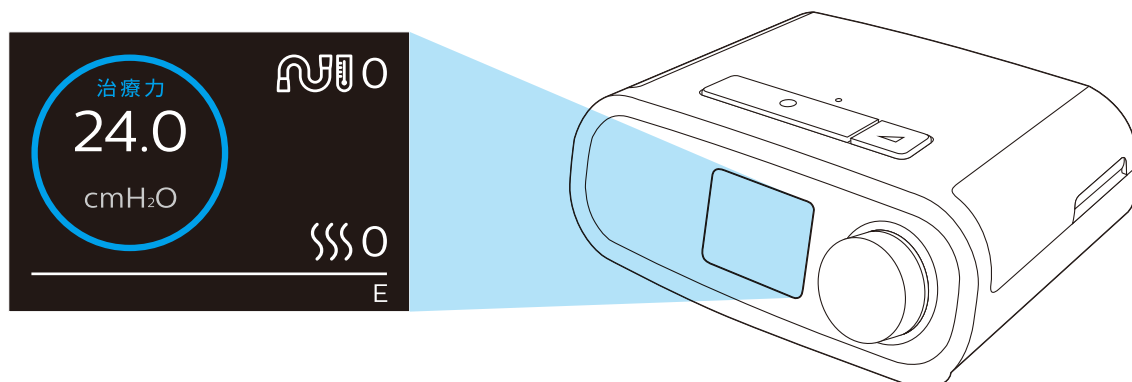
ランプボタン  を押すと送気が最小ランプ圧まで下がり、徐々に治療圧まで上昇します。

※ランプ圧は、医師の処方にて設定されています。



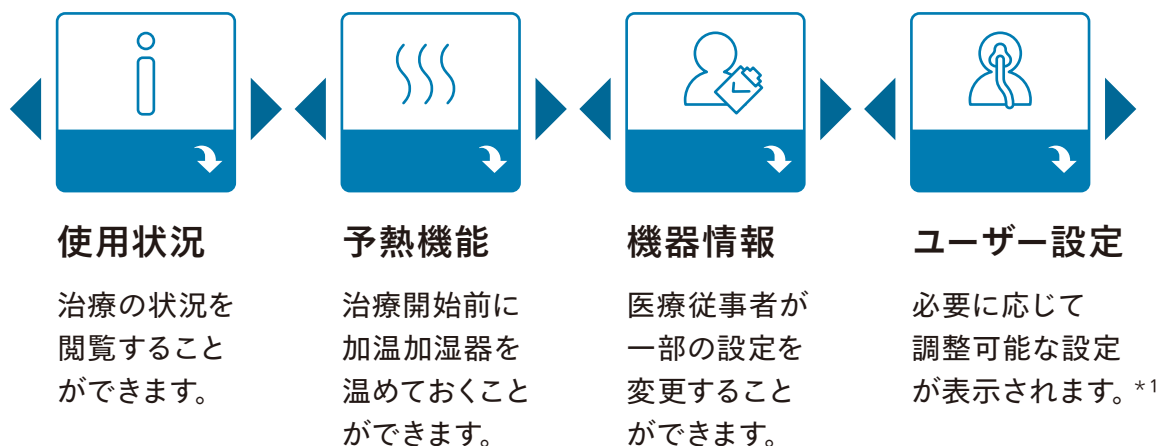
11 メニュー操作

治療がオンの間は次の画面が表示されます。



画面表示	項目内容
治療圧	現在の供給圧を表示
	ヒートッドチューブが接続されている間表示
	加湿器が取り付けられている間表示

ディスプレイ画面のアイコン

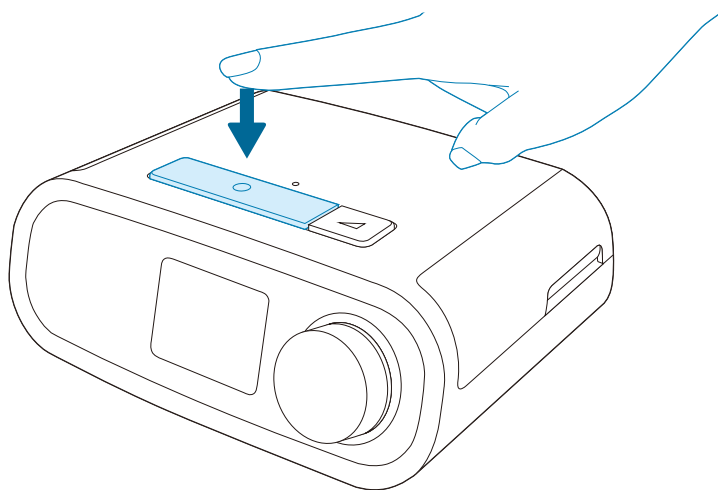


^{*1}: 医療従事者の設定によって、患者さんでは変更できない項目があります。

12 送気の停止

動作中に治療オン/オフボタンを2秒間長押しすると、送気が止まります。

機器上部

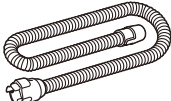
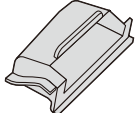
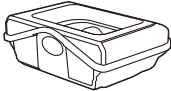
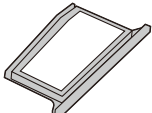


ご注意ください

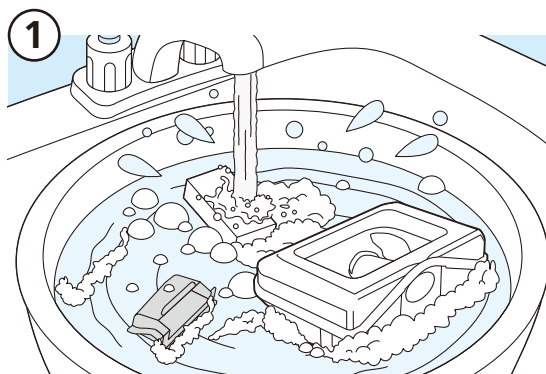
- ・ 機器を使用しない間（日中など）は、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- ・ セルラーモデムをご使用の場合は⑥「セルラーモデムの使用手順」ページの注意欄をご覧ください。
- ・ また、機器・呼吸回路・マスクなどは直射日光を避け、ホコリのかからない場所で保管してください。データ転送中と表示されている間はSDカードを抜いたり電源を切らないでください。

13 お手入れの方法

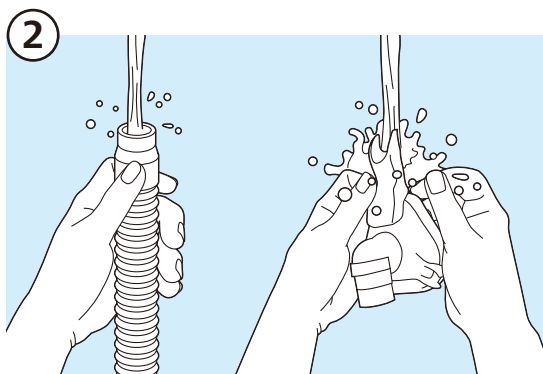
機器および付属品は、それぞれお手入れの方法やその周期が異なります。安全・快適にお使いいただくために、以下のお手入れを行ってください。

頻度	種類	お手入れ方法
毎 日	 マスク	各部品を分解し、中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。
	 呼吸回路	中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。その後よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。
	 水タンク	中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。必ずきれいな水ですすぎ、乾いた布で水気を拭き取り陰干しします。
1週間	 ヘッドギア	マスクから外し中性洗剤を薄めたぬるま湯でもみ洗いします。洗たく機を使うときは洗たく用ネットに入れます。
	 ヒートドチューブ	中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。その後よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。
	 加温加湿器本体	湿った布で表面を拭きます。 送気口の内側は、市販のビン用ブラシや布でクリーニングします。
1ヶ月	 花粉フィルタ	花粉フィルタは6ヶ月ごとに交換してください。使用後ぬるま湯で洗浄し、陰干ししてください。フィルタは必ず乾かしてからお使いください。
	 水道水を使用した加湿器の水タンク	必要に応じてお酢（濃度5%の酢酸）で水タンクを満たし、最低4時間または水垢が取り除かれるまで浸け置きしてください。
	 極微細フィルタ（オプション）	極微細フィルタ（オプション）は30日間使用後、または汚れが目立つ場合に交換してください。使い捨てですので、洗浄せず新しいフィルタをお使いください。

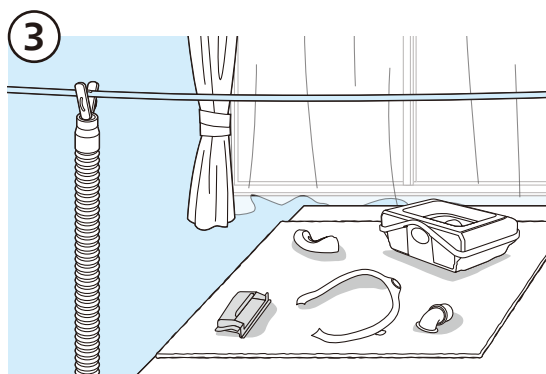
14 お手入れの手順



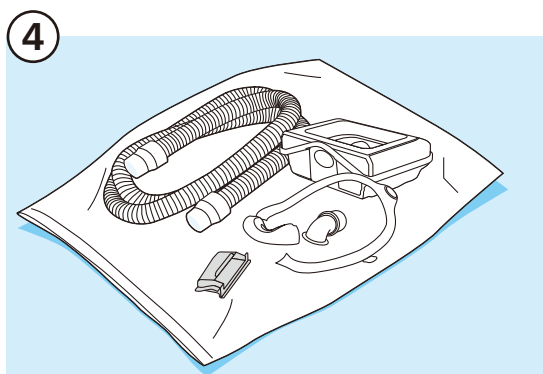
呼吸回路の部品を、中性洗剤をうすめたぬるま湯で洗浄します。



洗剤を流水で十分に洗い流します。



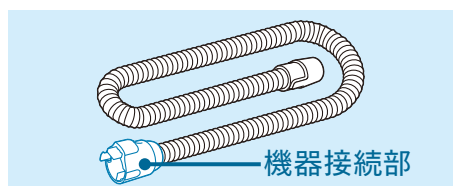
風通しのよい場所で陰干しします。回路類は吊り下げ、その他の備品はタオルなどの上に置いておくとい良いでしょう。



乾燥後はほこりがつかないように、袋などに入れて保管します。

ヒートッドチューブを洗浄する際は…

機器接続部を水にひたさないよう注意し、中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。その後よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。



⚠ お手入れの際は次の点にご注意ください



マスクや呼吸回路をベンジン、アルコール、塩素系洗剤などで洗わないでください。

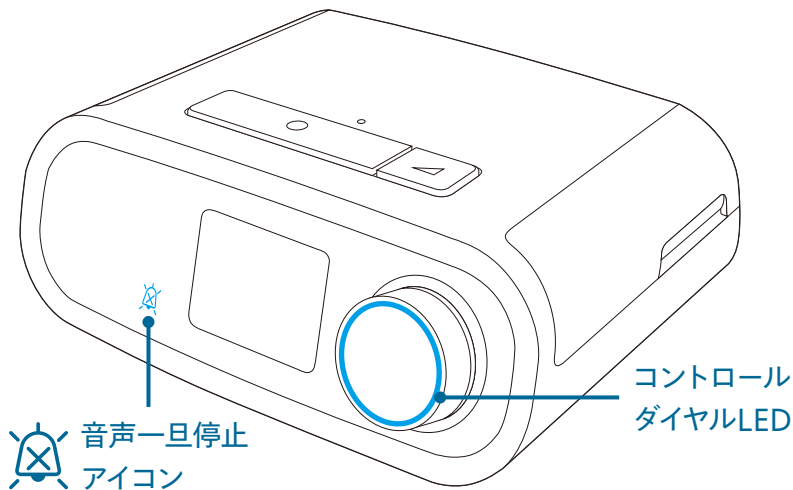


マスクや呼吸回路は、日当りの良い場所で干さないでください。

15 アラーム発生時の対応

標準的な対処手順

- ① アラームが発生したときは、患者さんの安全を確認してください。
- ② アラームの内容を確認してください。
- ③ コントロールダイヤルを押すとアラーム音が一時的に止まります。コントロールダイヤルをもう一度押すとアラームを画面から消すことができます。
※電源が落ちた場合は、コントロールダイヤルでアラームの消音・終了を行います。
- ④ 次ページ以降のアラーム一覧で、アラームの原因と適切な対処法を判断してください。



アラームには次の2種類があります。

LED	アラームレベル	意味
赤点滅	高レベルアラーム	直ちに対処する必要があります。
黄点滅	中レベルアラーム	できるだけ早く対処する必要があります。

16 アラームトラブルシューティング

アラーム発生時は、以下のアラーム一覧を参考に対処してください。

生理学的アラーム

画面表示	レベル	機器の動作	対 処
	高	作動	コントロールダイヤルを押して、アラームを消音します。コントロールダイヤルをもう一度押し、アラームを確認して画面から消去します。弊社事業所または販売店に連絡し、機器の使用を継続します。
	高	作動	患者さんの呼吸が連続2回、無呼吸アラーム時間設定内に収まったことが検出されると、このアラームは自動的に終了します。 コントロールダイヤルを押して、アラームを消音します。コントロールダイヤルをもう一度押し、アラームを確認して画面から消去します。弊社事業所または販売店に連絡し、機器の使用を継続します。
	高	作動	コントロールダイヤルを押して、アラームを消音します。コントロールダイヤルをもう一度押し、アラームを確認して画面から消去します。呼吸回路を接続し直すか、リークを調整します。アラームが続く場合は弊社事業所または販売店にご連絡ください。

技術的アラーム

画面表示	レベル	機器の動作	対 処
 作動不能	作動不能	シャットダウン	コントロールダイヤルを押し、アラームを消音します。機器の電源を切ります。すぐに患者さんからマスクを取り外し、代替の換気装置に接続します。弊社事業所または販売店にご連絡ください。
 作動不能 吸気口のつまり フィルタの異常	作動不能 吸気口の つまり フィルタの 異常	シャットダウン	機器の吸気口が塞がっていないことを確認します。エアフィルタが正しく取り付けられていることを確認し、必要に応じて交換します。 アラームが続く場合は、医療従事者に連絡して修理を依頼します。
 装置作動停止 リーク量が減っています。 マスクと呼吸回路を確認してください。	装置作動 停止	シャットダウン	呼吸回路がつぶれたり折れていないか確認します。マスクが正しく装着され、閉塞がないか確認します。 アラームが続く場合は、弊社事業所または販売店にご連絡ください。
 作動不能 フィルタの異常	作動不能 フィルタの 異常	シャットダウン	マスクを外して機器の電源を切ります。エアフィルタ、極微細フィルタの汚れを確認し交換・洗浄などの対処をしてください。 アラームが続く場合は、弊社事業所または販売店にご連絡ください。
電源の消失 (空白画面)	電源異常	シャットダウン	コントロールダイヤルを押し、アラームを消音します。患者さんからマスクを外し、電源の接続を確認します。電源またはコンセントから通電しているか確認します。 アラームが続く場合は、弊社事業所または販売店にご連絡ください。

機器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡ください。お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけの医療機関・取扱業者名などを必ずお伝えください。

かかりつけ医療機関

機器取扱業者

機器のトラブルは...24時間対応、安心の技術サポート

平日 9:00～17:30の受付

夜間・土日休日の受付

事業所

(平日17:30～翌9:00、土・日曜日と祝祭日)

機器安全センター

0120-633-881

販売名：ドリームステーション BiPAP autoSV 製造販売承認番号：301008ZX00195000 高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器

製造販売業者 **株式会社フィリップス・ジャパン**
〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル
www.philips.co.jp/healthcare
睡眠・呼吸製品のお問い合わせは地域の事業所まで
※各事業所の連絡先は以下のURLで公開しています
www.philips.co.jp/SRC-Office



© 2023 Koninklijke Philips N.V.

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくはお近くの事業所までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。

PN 1144708/230720 R5-W

